

8月17日（月） / Monday, August 17 / lundi, le 17 août		
13:00-15:00	プレカンファレンス 講師：有森丈太郎（トロント大学） 自分らしく学べる日本語教室づくり：ジェンダー・セクシュアリティの観点から Creating Japanese Language Classrooms Where Learners Can Be Themselves: A Gender and Sexuality Perspective East Asian Studies Lounge, University of Toronto, John P. Roberts Research Library, 14-080 （同会場で前日受付） 別途参加登録が必要です。Additional registration required	
8月18日（火） / Tuesday, August 18 / mardi, le 18 août		
8:00-8:30	受付 / Registration / Inscription 【Music Room】	
8:30-9:00	開会式 / Opening Ceremony / Cérémonie d'ouverture 【Music Room】	
9:00-10:30	基調講演 / Keynote Lecture / Discours d'honneur 【Music Room】 木下直子先生（早稲田大学） 主体性・自律性を育む日本語教育：アドバイジングの観点から	
10:30-10:45	休憩 / Break / Pause	
	口頭発表 / Oral Presentation / Présentations orales	
10:45-12:25	Session 1 モデレーター：金梨花 【Debates Room】	Session 2 モデレーター：畠山衛 【Music Room】
10:45-11:15	S1-1（発表辞退）	S2-1 小森万里（大阪大学） 自律的な書き手の育成を目指すケース学習教材のシラバス試案 —学位論文執筆経験者の経験則をもとに—
11:20-11:50	S1-2 Zhaoyu Chen, Brian Andrew Benoit (McGill University) Fostering Learner Autonomy in Beginning Japanese through Strategic Scaffold Withdrawal and Cultural Immersion	S2-2 伴野崇生（慶應義塾大学） 「教える」から「寄り添う」へ—難民日本語教育のパターン・ランゲージから主体性支援を再考する—
11:55-12:25	S1-3 山本晋也（周南公立大学） 自律的なキャリア形成を支えるビジネス日本語教育の試み	S2-3 Midori Tanimura (Ritsumeikan University), Akiko Mitsui (York University), Jisuk Park (Association for Social Networking Approach and COIL) Bridging Schools and Local Communities: A Collaborative Study on School Communication Accessibility for Diverse Families in Osaka
12:25-13:20	昼食 / Lunch / Dîner 【Debates Room】	
	口頭発表 / Oral Presentation / Présentations orales	
13:20-14:25	Session 3 モデレーター：ボイクマン総子 【Debates Room】	Session 4 モデレーター：池田朋子 【Music Room】
13:20-13:50	S3-1 橋本拓郎（香港大学） 学習者が生成 AI で取り組むデジタル学習ツール開発 —模擬授業連動型課題の実践報告—	S4-1 加山裕子（マニトバ大学） 日本語学習者の漢字学習に寄り添う取り組み —漢字への興味を深める—
13:55-14:25	S3-2 吉村由紀（マサチューセッツ大学アマースト校） 音楽生成 AI「SunoAI」で促進する Z 世代の日本語教育	S4-2 劉羅麟（早稲田大学） 学習者の主体性を引き出す漢字科目—漢字語彙の推測力と想像力を育むために—
14:25-14:35	休憩 / Break / Pause	
14:35-16:05	教師研修 / Teacher Development Workshop / Atelier pour les enseignants 【Debates Room】 Danielle Hunter 先生 （University of Toronto） Supporting Learner Agency and Autonomy through the Action-oriented Approach	
16:05-16:15	休憩 / Break / Pause	
16:15-17:45	教師研修 / Teacher Development Workshop / Atelier pour les enseignants 【Debates Room】 中込達哉先生 （国際交流基金、アルバータ教育・保育省） 変化するカナダの教育現場における実践を考える：「教室の複雑さ」を越え、学習者と共創する授業へ	
17:45-18:00	休憩 / Break / Pause	
18:00-20:00	懇親会 / Reception / Réception 別途参加登録が必要です。Additional registration required 【Music Room】	

8月19日(水) / Wednesday, August 19 / mercredi, le 19 août		
8:00-8:30	受付 / Registration / Inscription	
8:30-10:10	口頭発表 / Oral Presentation / Présentations orales	
	Session 5 モデレーター: 吉村由紀 【Debates Room】	Session 6 モデレーター: 藤原美保 【Music Room】
8:30-9:00	S5-1 相津頼子(カールトン大学、オタワ大学) 文脈を重視した日本語教育の実践：批判的視点の育成を目指して	S6-1 秋本浩永(セントオラフ大学) 言葉が身体の一部になるまで—音読活動の実践報告—
9:05-9:35	S5-2 善積祐希子(トロント大学) 日本語に対する視野を広げる日本語教育実践：日系カナダ人話者の日本語を用いた試み	S6-2 水戸淳子(香港大学) 日本語上級学習者が感じる「読み」の困難点—中国語話者の場合—
9:40-10:10	S5-3 大久保範子(Knox English Network, NPO)、西村裕代(イエール大学)、ボーグマン須賀敦子(ブラウン大学) 他者の発見・自己の発見・つながりの実現へ：ソーシャルネットワークワーキングアプローチ (SNA) の枠組みによる COIL 型活動の実践報告	S6-3 畠山衛(ビクトリア大学) 言語教師は、競技スポーツのコーチから教育者として何を学べるか

10:10-10:20	休憩 / Break / Pause	
10:20-11:20	ポスター発表 / Poster Presentations / Présentation des affiches 【Music Room】	
	● P1 赤井佐和子 (ヒューロン大学) AI 支援は「話す困難」を抱える学習者の主体性と合理的配慮をどう支えるか ● P2 天野みどり (大妻女子大学) 日本語教員志望学生の文法性判断—変化する敬語表現への意識— ● P3 井下田貴子 (早稲田大学) 英語を母語とする日本語学習者における拗音の音声生成の困難点とその要因—日本語教育語彙表からの考察— ● P4 池田朋子 (マギル大学) 日本語初級前半レベルからの自律学習—セルフスタディプロジェクト導入の課題と可能性— ● P5 石川比奈子 (アルバータ大学) Genius Hour Project による自律学習の実践報告 —中上級日本語学習者の学習深化と主体性の形成— ● P6 Michiya Kawai (Huron University, Western University) Ar as a regular verb in standard Japanese ● P7 Mizusa Morii (OISE, University of Toronto) Imagined Boundaries: Exploring Linguistic Boundaries in Translanguaging Communication ● P8 Eri Tajima (The University of British Columbia) Between Policy and Practice: The Impact of Canada's Bilingual Framework on Japanese Heritage Language Maintenance ● P9 高木丈也 (慶應義塾大学)、阪堂千津子 (東京外国語大学) ウズベキスタンにおける日本語教育 —産業・経済部門を中心に— ● P10 高梨信乃 (関西大学) JFL 環境で教える L1 日本語話者教師の教育実践と文法のとらえ方 ● P11 渡辺文生 (山形大学) L1/L2 グループワーク談話における言語調整行動の分析 ● P12 Mingqi (Sherry) Zhang (Simon Fraser University) Rethinking Native-Speaker and Standard-Language Norms: Toward More Inclusive JFL Pedagogy	
11:20-11:30	休憩 / Break / Pause	
11:30-12:50	昼食 / Lunch / Dîner 年次総会 / Annual General Meeting / Assemblée générale annuelle (CAJLE 会員のみ CAJLE members only) 【Debates Room】	
13:00-14:40	口頭発表 / Oral Presentation / Présentations orales	
	Session 7 モデレーター: 青木裕美 【Debates Room】	Session 8 モデレーター: 天野みどり 【Music Room】
13:00-13:30	S7-1 ボイクマン総子 (東京大学)、 松下達彦 (国立国語研究所／総合研究大学院大学)、 根本愛子 (東京大学) プレイスメントのためのスピーキングテストにおける日本語レベルの言語的指標—意見述ベタスクに焦点を当てて—	S8-1 鄭在喜 (早稲田大学) 学習者はなぜ主語を省略できるようになるのか—視点の内在化と事態把握の再構築— 学習者はなぜ主語を省略できるようになるのか—視点の内在化と事態把握の再構築—
13:35-14:05	S7-2 大和祐子 (京都大学) 上級日本語学習者の自己評価はどのような基準に基づいて構成されるか—学部修了時インタビューの質的分析—	S8-2 藤原美保 (ウィラメット大学) 統語的複合動詞 V2 はどこまで教えられるか?—意味の「見える／見えない」で分類する—
14:10-14:40	S7-3 レ・カム・ニユン (ベトナム国家大学ハノイ校・日越大学) AI 時代における教師の役割に対する学習者の期待—自律性の高いベトナム人上級学習者の視点から—	S8-3 藤平愛美 (大阪大学) 理系研究室における言語行動と行動規範の分野差—主体的適応を支えるブレンデッド型日本語学習コースの設計—
14:40-14:50	休憩 / Break / Pause	
14:50-16:20	教師研修 / Teacher Development Workshop / Atelier pour les enseignants 【Debates Room】 木下直子先生 自律学習を促す仕掛けづくり: 「引き出す」支援を考える	
16:20-16:30	閉会式 / Closing Ceremony / Cérémonie de clôture 【Debates Room】	

2026 年度 CAJLE 年次大会アンケートのお願い(締め切り 8/28) 年次大会改善のためにご協力をお願いします。
Please help us make our Annual Conference better. Complete Our Survey by August 28!!

2026 年次大会アンケート

